

第5学年 英会話科学習指導案

平成 29 年 11 月 9 日（木）

1 単元名 どうして／Four seasons.

2 単元について

(1) 児童の実態

本学年の児童は、これまで毎月のスキットを通して十分に英語に慣れ親しんできた。意識調査からも、8割以上の児童が英会話に対して前向きであることがわかる。

「これできる／Can you do this?」では、校内の先生に、できることを英語でインタビューし、その先生になりきってできることを紹介するという活動を、自分なりの言葉を使って発表する活動を行った。「どうしたの／I'm looking for～」では、なくしものを探すというテーマで、自分たちでオリジナルの簡単な劇を作り披露したりし、親しんだ英語を使い自分たちで会話を広げていったりすることに重点を置いた活動を行ってきた。その際、使いたいが言い方の分からない英語をALTに尋ね解決していくといった意欲的な姿勢も見られた。

これまでの学習を通して、動詞の補充を意識的に行ってきたことで、会話の中で自分の言葉として自然に使える場面が増えてきている。一方で、形容詞に関しては「調べてみよう／Which Which Which」で一度扱ったが、まだ習得が不十分であるため、今後も継続した学習が必要である。

また、スキットにとらわれず、曖昧さに耐えて必死に伝えようとしている児童を取り上げ称賛してきたが、慣れてくると、正しい英語を使わなければならない意識が強くなりすぎてしまう。自分の思いを伝えることに躊躇する場面も見られるなど、単語1つでも、なんとかして自分の思いや考えを伝えたり理解したりしようとすることに課題がある。

E-タイムを行うO組では、9割近い児童が、外国人に会ったときに英語を使いたいと答えている。ALTがlunch timeやE-タイムで教室に来た際に、躊躇することなく積極的に話しかけるなど、英語を話すことに対して楽しみながら取り組んでいることが分かる。また、多くの児童が、自分の考えや気持ちを躊躇せず伝えることができる。

学習を通して、友達のことをよく知ったり、意外な一面などの新しい発見をしたりした児童を取り上げ積極的に称賛してきた。しかし、会話場面で自分のことは話せても、相手意識をもち友達の発言に対する反応を自分事として受け止め、コミュニケーションを深めるという点においては課題がある。

E-タイムLを行う2組では、学年全体に比べると英語への関心が高い。特にE-タイムLが好きですかという質問に対して9割以上の児童が好きと答えている。これまで授業の中に積極的に取り入れてきた、スキット以外に自分の思いで自由に会話をする活動では、積極的に自分の思いを英語で伝えようとしている。言いたくても話すことができなかった英語をALTに質問している姿から、英語を習得していきたいという強い気持ちがあるということがうかがえる。

また、書くことに対しても関心が高く毎週水曜日のE-タイムWを心待ちにしている児童が多い。意識調査の英語が書けるようになりたいですかという質問に対し、9割の児童が英語を書けるようになりたいと答えていることから意識の高さを感じられる。

<図1省略>

(2) 本単元の意図

本単元は、好きな場所やその理由の言い方に親しみ、自分の思いを伝えたり、友達の考えを聞いたりすることを通してコミュニケーションを図る活動である。そこで、学習のゴールを「春日部のおすすめCM作り」とする。ここでは、モデルスキットや既習表現を用いて会話をし、身に付けた形容詞を使

って、おすすめの場所の理由を本当の自分の思いで伝えることができるようにしたい。その手だてとして、主に以下の3点のことに重点を置く。

1点目は、語句の補充である。形容詞をモデルスキットの中に取り入れることや、E-タイムで毎日扱うことなどを通して、本単元で重点的に取り組みたい。また、毎時間既習事項の振り返りを取り入れたり、使いたい言葉を児童から出させたりすることで、自分が相手に伝えたい本当の思いを、自分の言葉で伝えられるようにしていきたい。

2点目は、他教科との関連である。これまでの活動でも児童の身近な題材をテーマに取り上げきたが、学習との関連が十分に図れていなかった。本単元では学習との関連に重点を置き、意欲を高めていきたい。総合的な学習の時間では、「エキゾチックジャパン」として、日本の文化の良さを世界に発信していこうというテーマで、調べ学習を進めている。その活動の最初に「エキゾチックカスカベ」として、春日部の良さを調べることで、春日部の良さを外国人に紹介するという本活動と関連付けている。

また、国語の「きいて、きいて、きいてみよう」で学習した、聞き手が何を知りたいのかを考えて話すこと、質問の意図が分からなければ、尋ね返したり、確認したりするなどの相手意識を持たせた活動に関連付けている。

3点目は、「読む」「書く」活動の工夫である。書く活動に関しては毎週水曜日に取り組んでいる E-タイム W と関連づけて行う。4線を意識させるために試みとして、掲示する補充語句や活動で扱うカードの中に4線を加えていく。また、つながりのある学習計画を立て、活動の最後にはパンフレットに慣れ親しんだ形容詞を書き込んでいく。読む活動に関しては、絵を見て意味を考え、単語のみ書かれたカードを取ることや、慣れ親しんだ英単語や表現を自然な流れで読むことができるよう活動の中に取り入れていくことで、文字認識を高めていく。

3 研究主題との関連

研究主題 「積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成」

～4技能（5領域）のバランスのとれた育成～

【仮説】	【手立て】
◎目的意識をもたせることで、英語でのコミュニケーションへの関心が高まるであろう。 【コミュニケーションに関する関心・意欲・態度】	E：自分が使いたい言葉を補充語句として取り入れる。 EL：他教科と関連づけるとともに、学習のゴールを明確に設定し、つながりのある学習過程とする。
◎多様な聞く活動を取り入れることで、英語での音声に慣れ親しみ、類推して内容を聞く力が育つであろう。 【聞く】	E：発展スキットや既習のスキットを繰り返し視聴する。 EL：形容詞カルタや Story time で、ALT の発音を聞く機会を意図的に設ける。
◎くり返し英語を話す活動を取り入れることで、英語での言い方を理解し、自分の考えや気持ちを話す力が育つであろう。 【話す】	E：Where is here?ゲームのヒントとして市内の様々な場所のおすすめの理由を繰り返し発話させる。 EL：おすすめの場所のパンフレット作りを通して、既習事項等を使った、スキット以外にも会話を広げられるようにする。
◎文字にふれる場面を多く設定すれば、児童が自然に読んだり、書いたりできる力が育つであろう。 【読む・書く】	E：扱うカードや掲示物に4線を加えた文字を入れる。 EL：アルファベットカードを並べ替えて文をつくる活動を設定する。

4 単元計画

(1) スキットの系統性

2年生「色で遊ぼう」	5年生「～できる？」
A : Which paper do you want? B : I want the red one. A : Ok, here you are. B : Thank you.	A : (Vincent), can you do this? B : Yes, I can. It's easy. Can you do this? A : No, I can't. It's too difficult.
5年生「学校生活 (クラブのこと)」	5年生「調べてみよう」
A : Which club are you in? B : I am in the cooking club. How about you? A : I am in the tennis club. B : Oh, I see.	A : Which is faster ,dog or horse? B : Horse is faster. A : Yes, that's right. Which is bigger, softball or basketball? B : Softball is bigger. A : No, basketball is.

本単元のスキット 5年1月 どうして? / Four seasons.	重要補充表現	補充語句
A : Hi(Vincent). Which season do you like the best? B : I like winter. A : Why do you like winter? B : Because I like skiing. A : Oh, I see.	① I(You) can ~. Can you ~? ② Oh, I see. / Me too. That's nice. Once more please. Special place! / Fantastic	beautiful delicious big cute traditional famous fun
【発展スキット】 A : Which place do you like the best? B : I like Enzel dome. A : Why do you like Enzel dome? B : Because I can see beautiful view. A : Oh, I see.		

中学2年生「TOTAL ENGLISH Lesson 6 ドイツと日本の3R」
A : Could you give me some example of the 3Rs in Japan? B : We collect plastic bottle caps at our school. A : Why do you do that? B : Because the caps can help children around the world.

(2) 目標及び評価規準

観点	単元の目標	単元の評価規準	評価機会			
			1	2	3	4
関心 意欲 態度	・好きな場所やその理由の言い方に親しみ、既習のスキットや単語を生かして自分の思いや考えを伝え、コミュニケーションを図ろうとする。	・好きな場所やその理由の言い方に親しみ、既習のスキットや単語を生かして自分の思いや考えを伝え、コミュニケーションを図ろうとしている。				○
話す (発表)	・春日部市のお薦めの場所やその理由を、簡単な語句や発展スキット・既習の表現を用いて話すことができる。	・春日部市のお薦めの場所やその理由を、簡単な語句や発展スキット・既習の表現を用いて話すことができる。				○

話す (やりとり)	・Why?/Because～や既習の表現を使って、自分のおすすめの場所や、その理由を詳しく伝え合うことができる。	・Why?/Because～や既習の表現を使って、自分のおすすめの場所や、その理由を詳しく伝え合うことができている。						
聞く	・好きな場所やその理由の言い方に親しみ、活動で用いている英語の内容を大まかに聞き取ることができる。	・好きな場所やその理由の言い方に親しみ、活動で用いている英語の内容を大まかに聞き取ることができる。						
気づき	・好きな場所の理由を表す言い方には、多様な表現があることに気づく。	・好きな場所の理由を表す言い方には、多様な表現があることに気づいている。						
読む	・スキットや既習の単語を読むことができる。	・スキットや既習の単語を読むことができている。						
書く	・既習の単語を書くことができる。	・既習の単語を書くことができている。						

5 本時の展開 (第3週)

(1) 目標

- ・Why?/Because～や既習の表現を使って、自分のおすすめの場所や、その理由を詳しく伝え合うことができる。【話す・やりとり】
- ・パンフレットに集めた形容詞を書き込むことができる。【書く】

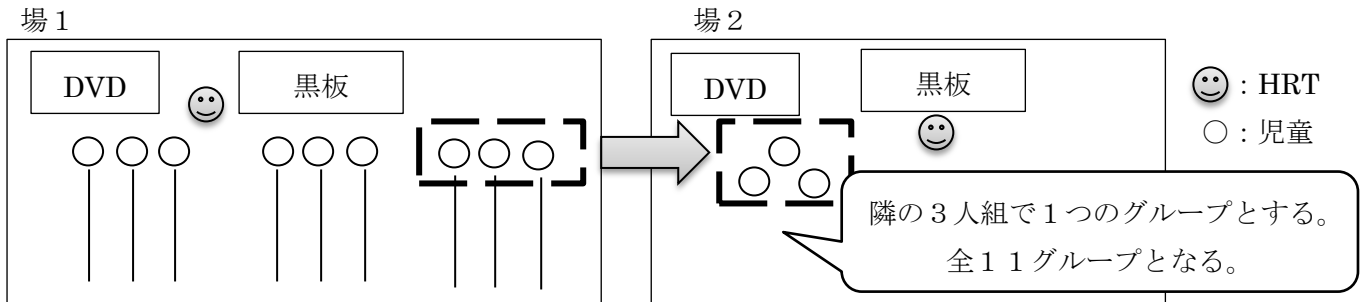
(2) 展開

- ・E-タイム 第5学年1組

時間	学習活動	学習内容	指導上の留意点 (・指導 【評価】)
1'	1 あいさつをする。	・あいさつ ・補充語句	・Small Talk をしながら既習内容の定着を図る。
1'	2 “My favorite”を歌う。	・今月の歌	・リズムに合わせて、形容詞を掲示し確認しながら歌えるようにする。
1'	3 DVD を視聴する。(場1)	・スキット	・ALT の発音を真似ようとしている児童を取り上げて称賛する。
1'	4 単語や表現の練習をする。	・補充語句	・ジングルの曲に合わせてリズム良く発音させる。 ・絵から意味を推測させ、文字と組み合わせることで文字認識を深めていく。
4'	5 グループをつくり、“Where is here?”ゲームを行う。 (場2)	・会話練習ゲーム ・補充語句 ・重要補充表現	・分からない場合は質問したり聞き返したりすることを促す。 ・ヒントを聞いて答えるだけでなく、聞き手側から質問したり、感想を述べたりし

1'	6 本時の学習をふり返る。	<ul style="list-style-type: none"> ・本時のねらいに沿ったふり返り 	<p>て会話を広げているグループを取り上げ称賛する。</p> <p>【話・や】 Why?/Because～や既習の表現を使って、自分のおすすめの場所や、その理由を詳しく伝え合うことができる。(発言)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あいさつをして、終わりにする。
----	---------------	---	--

・場の設定



時間	学習活動	教師のかかわり		支援・指導上の留意点・【評価規準】	資料
		H R T	A L T		
1'	1 あいさつをする。 ・ Hello Mr. 〇〇.	・ Let's start our English lesson.	○Hello everyone. ○How are you today?	・ 元気よくあいさつを交わし、活動への意欲を高める。	
1'	2 My favorite を歌う。	・ Let's sing "My favorite".	○Let's enjoy singing! ○Good job!	・ 扱ったカードを黒板に貼る。	CD
1'	3 本時のめあてと学習の流れを知る。	・ Look at the black board. Let's read "Today's point" together.			短冊
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: 80%;"> <p><Today's point> パンフレットを使って自分のお気に入りの場所を、詳しく友達に伝えよう。</p> </div>					
5'	4 重点補充表現を中心に、 ゲームで使う表現の練習をする。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: 80%;"> <p>A : Which place do you like the best in Kasukabe? B : I like enzel dome. A : Why do you like enzel dome? B : Because I can see beautiful view. A : Oh, I see.</p> </div>		<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>【HRT】</p> <p>・ モデルスキットを提示し、ALT とデモンストレーションする。 ・ 必要に応じて、ALT の説明の補足をする。</p> </div> <div style="width: 45%;"> <p>【ALT】</p> <p>・ 繰り返しや重要補充表現など会話で使える表現を強調して使う。</p> </div> </div>	モデルスキット 補充語句
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: 80%;"> <p>○重要補充表現 ①Oh,I see. /Me too./That's nice. Once more please. Specialplace!/Fantastic! ②I can ~./Can you ~?</p> </div>		<p>・ Let's practice ・ Repeat after 〇〇 sensei.</p>			

25'	<p>5 Kasukabe 再発見 Game II</p>	<p>・ Let's enjoy Rediscover Kasukabe Game II</p>	<p>○Please watch our demonstration.</p>	<p>・ 会話がスムーズに進んでいるか、各ブースを回りながら観察する。 ・ 紹介したい児童を探し、後半の会話のモデルにさせる。</p>	<p>・ 混んでいる場所を中心に、ブースを移動し外国人役の一人として参加する。 ・ 会話をしたら四線のみ書かれた Free カードを渡す。 ・ 会話の深まりがみられる場面を積極的に褒める。</p>	<p>移動黒板 1 児童用机 8</p>
<p><活動内容> ① Aグループ（外国人役）と Bグループ（観光案内役）の 2 グループにわかれる。 ※Aグループと Bグループ（生活班を半分に分ける）は途中で役割を交代する。 ② Bグループの児童は前時に作成した、パンフレットを用いて春日部の良さを Aグループの児童に説明する。 ③説明はモデルスキットを参考にしながら行うが、相手の説明に対して聞きたいことがあれば、会話の中に Small Talk を含めていく。 ④ Aグループの児童は紹介してもらったお礼にアルファベットカードを渡す。 ⑤欲しいアルファベットを交渉してもよい。ALT と会話をすると Free カードが貰える。 ⑦ 1回 10分でローテーションする。</p>		<p>・ Team B is“visitor”. ・ Team A, please go to guide corner. Team B please get ready. ・ After 10 minutes, change the part.</p>	<p>○There are 8 guide corners.</p> <p>○I am a special cast. If you can talk with me, you get special card.</p> <p>You can write any word on this card.</p>	<p>【話・や】 Why?/Because～や既習の表現を使って、自分のおすすめの場所や、その理由を詳しく伝え合うことができている。 (発言)</p>		

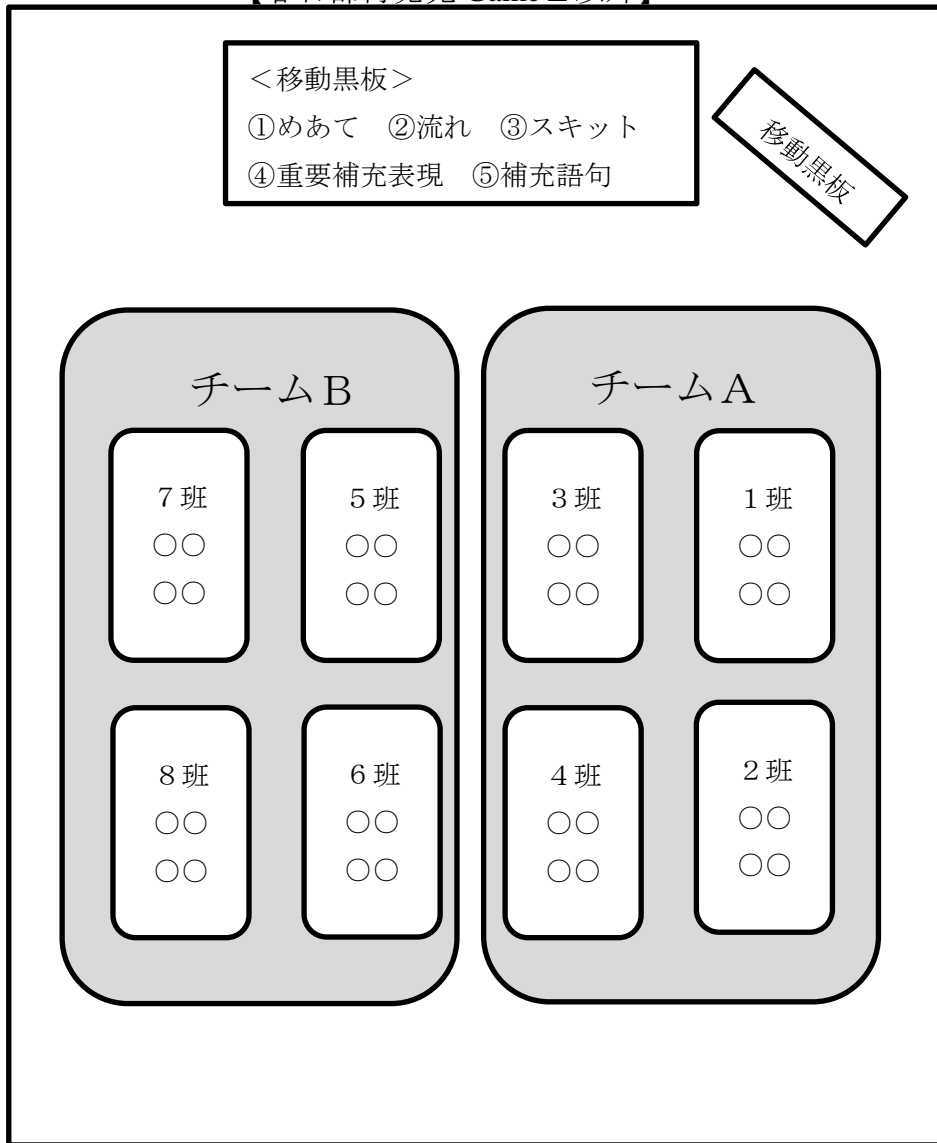
7'	<p>6 集めたアルファベットカードを並べ替えて文を作る。</p> <p>①グループで協力し、集めたアルファベットを並び替えて、形容詞を作る。</p> <p>②1つだけでなく、できる限り挑戦する。</p> <p>③できた形容詞をパンフレットに書き込んでいく。</p> <p>④不完全な単語は、最後にみんなで協力して完成させる。</p> <p>【並べ替えてできる文のイメージ】 beautiful delicious amazing cute traditional famous interesting</p>	<p>• Let's read the word.</p> <p>• Look at the TV.</p> <p>• Good job! You are Fantastic!</p> <p>• Team~cannot make a word. What do you need here?</p> <p>• Who has ~ ?</p>	<p>○Let's read the word. You can do it!</p> <p>• Good job! You are Fantastic!</p>	<p>•戸惑っている班には声をかけ、板書を見るように促す。</p> <p>•単語が不完全な場合は、全体で取り上げて、全員で正しい文を考えさせる。</p>	<p>•各班を回り、できた単語を読ませていく。</p> <p>•並び順が違う班には板書を見て気付かせる。</p> <p>•上手く読めない班に対してはALTが発音して真似をするように促す。</p>	ネームペン
5'	<p>7 ふり回りカードに記入して、終わりの挨拶をする。</p> <p>• Thank you very much.</p>	<p>• Today's point is ~</p> <p>• Please check your passport.</p> <p>• That's all for today.</p> <p>• Today's leaders, please say "Thank you".</p>	<p>○Good job everyone. And nice try!</p> <p>○Good-bye.</p> <p>○See you.</p>	<p>•めあてに正対したふりまわりをしている児童を取り上げて称賛し、全体に広める。</p>		

【期待するふりまわりの内容】

- 自分で作ったパンフレットを使って会話をして、自分の思いを伝えることができた。
- 単語を正しく並べ替えて、パンフレットに書き込むことができて楽しかった。
- 友達の好きな場所について、気になることを質問することができた。

・場の設定

【春日部再発見 Game II 以外】



【春日部再発見 Game II】

